

熱きライバル 高浜 正伸

「堀さんに悪いことしちゃったな」。

経営学修士号（MBA）のカリキュラムを用意する大学院「グロービス」を創業した堀義人さんのことだ。年1回程度、バスケットボールの「Bリーグ」で対戦する間柄なのだが、別件があり、私は会場に足を運べなかった。対戦といっても互いに選手ではない。応援者としてだ。

堀さんは茨城ロボッツのオーナー。私は熊本ヴォルターズのスポンサーで、それぞれの出身地のチームだ。客席はいつも隣同士。地元愛があるから声援で張り合う。でも今年はそんな「行事」を開けなかった。

初めてお会いしたのは数年前のことだ。教育改革を進める藤原和博さんがつないでくれた。私の場合は子供を対象にした学習塾「花まる学習会」で、堀さんは大人向け。教える年齢層は違うけれども、教育にかける熱意は同じように強い。

年齢が近い2人のもう一つの楽しみが碁を打つことだ。お互い多忙の身だが、月に1回は必ず碁を打っている。私にとってにはふだんの業務で疲れた頭をクールダウンできる良い時間。ともに碁は好きだけど、堀さんは勉強家で実力も上。しかし、勝ち負けには少年のようにこだわらる。悔しがりもする。いつまでも本気の勝負ができそうだ。（たかはま・まさの

交遊抄

ぶーこーゆー社長）